

「たい」が泳ぐ心を大切にしよう —やる気につながる好奇心—

「たい」が泳ぐ心を大切にしよう。妙な言い回しですが、ここで言う「たい」とは、見たい、知りたい、聞きたい、やってみたい、はっきりさせたい・・・という心の動きのことです。そういう心を「主たい的」といいます。「好奇心」と言ってもいいと思います。

1学期の終業式では、子供たちに「たい」が泳ぐ心を大切にしてほしいという話をしました。心の「たい」には、大きな「たい」もあれば、めだかのような小さな「たい」もあります。大小かかわらずどちらの「たい」も大切にしてほしいです。

例として、紙ブーメランの話をしました。私がクラス担任をしていた頃、子供たちと一緒によく物作りを楽しんでいました。紙ブーメランもその一つで、細長く長方形に切った厚紙を、十字に貼り合わせるだけの簡単な工作です。5分ほどでできて、投げればちゃんと戻ってきます。コツは、2枚の厚紙をちょうど真ん中で垂直に貼り合わせて、きれいな十字にすることだと思っていたのですが・・・ある日、クラスの子供が適当に貼り合わせた×字型のブーメランでも投げたらちゃんと戻ってきたと言うのです。本当でしょうか？さっそくやってみると、その子の言うとおりにちゃんと戻ってくるではありませんか。「えっ？貼り合わせ方は適当でよかったの？」そう思った私はTの字に貼り合わせたブーメランで試してみることにしました。Tの字型もちゃんと戻ってきます。では、くの字のブーメランなら・・・ちょっとした私の自由研究になってしまいました。心の中には、はっきりさせたい、調べたいという小さな「たい」が確かに泳いでいたという話です。



長い夏休みです。子供たちには、心の中に泳ぐ「たい」を大切にしておいしく充実した思い出深い夏休みにしてほしいと思います。作りたい、調べたいだけでなく、あの思い出を絵に描きたい、この曲を演奏したい・・・、それぞれの「たい」を大切にしてほしいと思います。

岡山市教育長の三宅さんは、子供たちに「やる気につながる好奇心」を育てたいと言っています。「たい」が泳ぐ心を大切にすることだと思っています。